



大正中学校だより

令和3年度 第6号

令和3年10月26日発行 横浜市立大正中学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/taisho>
校長 佐藤 典之

学び方の変化

一斉登校が始まってから、あっという間に3週間が経ちました。生徒の皆さんも、少しずつ、生活のリズムを取り戻し、学習活動に取り組んでいることでしょう。

季節も変化し、学習のしやすい季節を迎えました。私も、時間が許す限り生徒の皆さんが学習している姿を見せてもらっていますが、「何とか理解を深めたい」という気持ちが強くなり、一生懸命授業に取り組んでいます。そして、その姿を見て大変誇らしげに感じます。

みなさん、授業のスタイルが少しずつ変化しているのは、お気づきですか？今、どの教科においてもその時間に「何を学ぶか」という、「目標やねらい」を授業の初めに確認しています。そして、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、毎時間ではないですが、言語活動を少しずつ取り入れた授業を行っています。言語活動とは、生徒同士で話し合いをしたり発表したり、ノートやワークシートに自分の考えを記入したりすることです。教科によっては、生徒同士で教え合ったりする授業をする時があると思います。

さらに今年に入って、大きく変化しつつある授業スタイルに、『GIGA スクール構想』として一人一台のクロームブックが貸し出され、調べ学習や課題解決学習を行っている授業があります。これまでの学習の仕方とは大きく変わる部分が生まれてきています。

また、評価の面においても、今年から3つの柱が観点とされました。予測することが困難と言われる将来を生きぬくために、必要とされる「生きる力」とも言われています。具体的には

- 「知識・技能」は、何を理解しているか、何ができるようになったのか、また、他の教科や生活の場面でも活用できる技能を修得しているかということです。
- 「思考・判断・表現」は、理解していること、できることをどう使うか、課題を解決するために必要な思考力や判断力・表現力を身に付けているかということです。
- 「主体的に学習に取り組む態度」は、学習に粘り強く取り組む姿や自分で学習を調整する力を指します。学習目標や計画を立てたり、調整したりして、どうやって課題を解決していくかという、学びに向かう姿が評価されるのです。

つまり、ただ知識を覚えるだけの学習ではなく、実際に覚えたことをどうやって生活に応用・発展させていくかの活用能力や、他者と学び合って協働していくために、思考力や判断力、表現力がより要求されるようになったということです。それには、主体的に学びに向かう姿と粘り強く取り組む根気が不可欠になります。クロームブックも、こうした力を育むための一つの道具なのです。今までが、「やらされる学習」であったとしたら、これからは「すすんでやる学習」へ方向変換をしなければなりません。何のために学ぶのかをしっかりと自覚して、自分で未来を切り拓く力を身に付けてほしいのです。

国際理解教室の実施

10月12日・13日に、3年生の英語の授業で、国際理解教室を実施しました。今回は二日間にわたり、9カ国の外国人講師（ICU）を招き、生徒は各クラス6グループに分かれ、各講師の先生が、ローテーションしながら出身国・地域の文化について1つのトピックを用意し、母国語ではない世界共通語である英語を使って、生徒の皆さんとディスカッション形式で授業をおこないました。

今回の目的は

- ①IUI がもたらす様々な文化や価値観に触れることによって視野が広がり生徒の国際理解を深める。
- ②IUI による様々な言語や様々な国の英語“Englishes”に触れることによって世界共通語である英語学習への生徒の動機付けを高める。
- ③IUI との関りが「英語で伝えたい内容」を生み出し生徒のコミュニケーションへの意欲を高める。

です。

生徒たちは、最初は少し戸惑いながらも、徐々に会話が進み、大変興味深く、意欲的に参加していました。授業後の生徒たちの感想は、「とても楽しかった。」「先生がゆっくり話してくれたから、理解することができ、自分も自分の考えや思ったことを伝えることが出来た。」「またこのような機会を作ってほしい」など有意義な授業となったようです。



不審者対応訓練研修の実施

職員研修として戸塚警察署生活安全課防犯係の方を講師としてお招きし、不審者対応訓練を実施しました。教職員が不審者役を演じ、警察の方の到着までの生徒・教職員の安全を守る観点を重視した対応訓練としました。教職員が組織的で臨機応変かつ迅速な対応ができるよう、様々な観点から署員の方から指導助言をいただきました。学校が子どもたちにとって安全安心な場となるよう、これからも、研修を重ねていきます。

